

学校評価公表シート（自己評価・学校関係者評価）

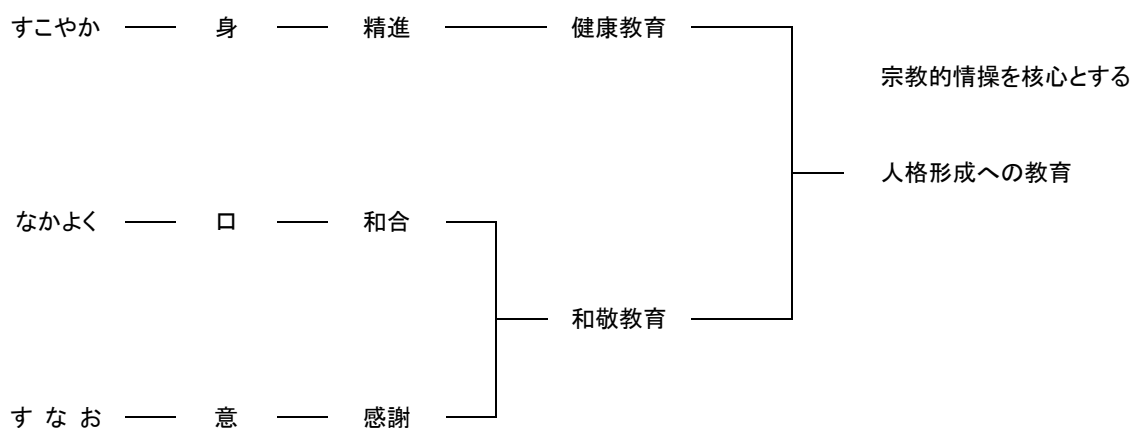
1. 成田幼稚園の教育目標

☆教育基本法ならびに学校教育法に基づいての教育

☆仏教（人間自覚のおしえ）のこころによる教育

☆生命（いのち）尊し 生きる力あり 活（い）かせ生命（いのち）

注（そそ）げ愛情 伸ばせ個性（こせい）



2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検・自己評価を実施し教師一人一人が教育力を高め、教育内容の充実に向けて主体的に取り組んでいくことを目標とする。
 少子化の中で園児の確保また人材の確保にも重点をおき取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園教育要領の基本を大切に受けとめ、あわせて本園の教育方針の充実に努める。	幼稚園教育は幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであり、また、遊びが大事であるという観点を教職員間の共通理解とし、指導計画を考慮する。

<p>教師間で「楽しさこそ保育の本質」を考え実践していく。</p>	<p>教師は日々の教育記録や子どもの実態について報告しあい園長よりアドバイスを受けながら楽しさを感じられるような先生を育て合い実践につながるように努めている。またその記録や報告は、それぞれのクラスを知る手だてにし教師間で認識し考え合うようにしている。</p>
<p>明るく、のびのびした環境の中で子ども一人一人の安全性につとめる。</p>	<p>本園ののびのびした子どもらしさを大切にすると共に安全な教育環境を改善したり配慮しあうようにしている。</p>
<p>園だよりや文集・機関誌・ホームページで保護者を対象とした情報を提供している。</p>	<p>園の教育方針や取り組みを情報発信できるようホームページに記載し、積極的に取り組んでいる。 担任がクラスの保育の様子を「クラス便り」で保護者に知らせるようにしている。</p>
<p>研修会や研究会に積極的に参加して教職員に資料提供をする。</p>	<p>各種研修会や研究会に参加し、学んだことを伝え、教職員の資質を高めるようにしている。</p>
<p>地域とのかかわり</p>	<p>小学生が懐かしい園をふるさと思い園児との触れ合いを希望する活動として第2・第4土曜日以外の土曜日や学校休日に「アシスタント」の受け入れのできる場を提供している。</p>
<p>園児確保のために子育て支援に努める</p>	<p>少子化時代に重ねて 母親の就労状況も増えている中、預かり保育制度の見直しや未就児を対象に「幼稚園に遊びにきませんか」という活動を5・6・7月に4～5回実施している。</p>

クラス担任の責任と自覚	教師も1人の人間であり、年齢が若ければ結婚を考えるとはいえスタートの4月からゴールの3月まで担任という立場に責任と自覚のもてる職員教育が必要と痛感している。
-------------	--

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	自己点検・自己評価を実施することにより、一人一人の教職員の共通の理解を確認する機会になった。 常に大切にしている子どもの側に立った本来の幼稚園教育を推進していくために園と家庭の連携を更に図るようにしていきたいと考えている。

評価結果の表示方法

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが、成果が十分でない

D 取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	現在、園だよりや機関紙・参観日などを通して保護者への情報公開には取り組んでいるが、さらに一般の人が利用できるホームページを開設したり「幼稚園に遊びにきませんか」という案内もし、家庭に配布。園庭開放もしている。
自己点検・自己評価	点検課題については、保護者より連絡帳を通して、また行事などについて感想や意見を寄せていただき、それを参考にしている。 アンケートを実施する場合もある。

<p>創立 68 周年を終えて 行事の見直しをして いく</p>	<p>時代の流れとともに 行事のあり方についてより一層内容の充実を図る。とくに本園は「目に見えないものに合掌し、感謝する心の教育」及び「自然教室の活動を通して、食育につながる活動内容」の 2 本の柱を更に充実していきけるようにする。</p>
<p>災害を想定した防災訓練</p>	<p>訓練計画を再作成していく努力をする。とくに子どもが園で保育中の時に災害が発生した場合の避難方法や家族の連絡手段等について、具体的な方法を検討し教職員一人一人の意識を高めるようにする。バス運行時での災害が発生した場合についても再度確認し合う。</p>
<p>施設の安全対策 (遊具の点検)</p>	<p>耐震補強工事・園舎非構造部材の耐震対策工事を平成 27 年度ですべて終了した。ブロック塀擁壁改修工事完了。 さらなる遊具の定期的点検を実施。鉄棒など新しいのに取替えたりしている。</p>

6. 学校関係者評価

<p>◎ 母親の就業状況により、園児減少とはいえ本園は今までどうり お不動様の教えを柱に子どもにとっての遊びを大切に保育を実践して行って欲しい。</p> <p>◎ 近隣の園のとり入れている内容も参考の一つにしてはどうか。</p> <p>◎ たとえば 兄弟、姉妹・双子が同時期に通園している場合の保護者の負担を考慮する。</p> <p>◎ 課外活動なども保育終了後に活用できるような取り組みがあってもよいのではないか。</p> <p>◎ 幼児にとって母親の味は大切でお弁当を週に 2～3 日としても今の本園の給食の形は保護者にとっては不満があるのではないか。改善を考慮してはどうか。</p> <p>更に 時代に沿った保護者の対応に励んでいただき本園ならではの保育の実践を希望するというご意見がありました。</p>
